

タイピックだより

9月号

2017.8.20 発行 Vol.57



九月は暦の上では秋ですが、まだまだ残暑が厳しい季節ですね。日中の日射しは夏のようでも、日が沈むと幾分涼しく、秋の訪れを感じます。

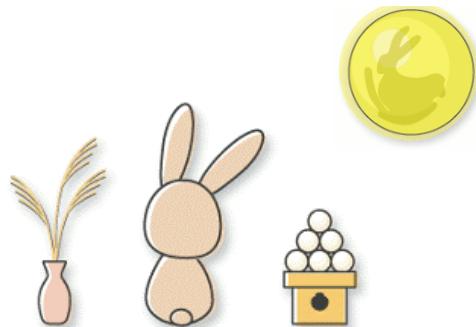
九月といえばお月見というイメージがありますが、今年の中秋の名月は十月四日だそうです。中秋の名月とは、「秋の真ん中の満月」

という意味で、旧暦七年から九月の真ん中に訪れる満月を指しており、新暦の現代では、九月七日から十月八日の間に訪れる満月の日になります。お月見というと、雲の無い夜にくっきりと見える月を楽しむ情景が思い浮かびますが、昔からこの時期の晴天率は低く、

見えない月を指す言葉が多数あることや、雲や雨で月が見えないと「無月」「中秋無月」とも「無月」「中秋無月」と呼んでいたことがあります。しかし、月が見えない夜から、月が見えない夜でも空を見上げて、隠された月を探したり想像したりと見えないことも楽しんでいたのかもしれませんね。

無いものを不満から楽しみに見える考え方

は私たちも見習いたいのですね。



こどもプログラミング教室始めます

無料
体験



プログラミングで
身につくチカラ

入試でも役立つ論理的
思考力を今から育成!

手順を理解した問題解決力

物の仕組みを考える思考力

意欲的な関心・好奇心

イメージを形にする創造力

論理的思考力

9月より、「こどもプログラミング教室」を始めます。

文部科学省は、2020年にプログラミング教育必修化を盛り込んだ学習指導要領改定案を発表しました。

プログラミング学習は、楽しみながら論理的思考力を養うことができるため、これから時代必要とされる能力を鍛えることに最適です。無料体験に是非、お越し下さい。

<実施日程>

9月 16日(土)、23日(土)、30日(土)

<場 所>

株式会社タイピック 1F 教室

時 間 帯	定 員
●10:30~12:10 (休憩10分 45分×2)	10名
●13:00~14:40 (休憩10分 45分×2)	10名
●15:00~16:40 (休憩10分 45分×2)	10名

*お子様の送迎は保護者様にお願いいたします。

お子様ひとりに1台のパソコンを準備していいますので、実際にパソコンを操作していただき、パソコンの基本的な操作も覚えるながら、楽しくプログラミングを体験していただける体験会です。

まずは電話でご予約をお願いします

0120-733-554

Typic 株式会社タイピック 益田市常盤町7番3号

必要とされる人へ、必要とされる会社へ

Typic 株式会社 タイピック



〒698-0023 島根県益田市常盤町7番3号

Tel. (0856) 23-2800 Fax. (0856) 22-5592番

<http://www.typic.jp>

社長の

つぶやき



私は月刊誌『致知』を購読して十年を越える。いつも様々な教えを乞う中、今月も新たな教えを頂いた。二〇一七年九月号特集「閃き」の中の九州旅客鉄道会長 池恒一氏のインタビュー記事である。その中に「気を満ち溢れさせる4条件」とあった。飲食業を営む私としては、はっと目に留めたところである。この「気を満ち溢れさせる4条件」を早速パソコンに書き写し、オリジナルのファイルに綴り込み、今、何度も読み返している。そして、私が経営するコメダ珈琲店のバックヤードにも書き写したものを作り出した。

実際に書き写していくと、この一連の作業は今に始まったことではない。以前は、本を読んだ時に重要と思ったらマークを引き、マークを引いた箇所をノートに書き写していたが、『稻盛和夫の論語』を28回読んだきっかけにパソコンに書き写す(A4用紙23枚)ようになったのである。

今回、書き写しただけではなく、コメダ珈琲店のバックヤードにま

で張り出しだくなるほど、「気を満ち溢れさせる4条件」を月刊誌『致知』より紹介したい。

一つ目は「スピードあるキビキビした動き」。迅速に動くと気が集まります。

二つ目は「明るい大きな声」。挨拶にしても打ち合わせや電話にしても、小さな声でヒソヒソ喋っている人がいるんですけど、それじゃあ全然職場に気が満ち溢れません。だから、もっと明るく元気に大きな声を出せ、こう言うんです。

三つ目は「隙を見せない緊張感」ですね。誰に対しても緊張感を持つのか、それはお客様です。(途中省略)

四つ目は「貪欲さ」。もう一人お客様に入っていたいこうと呼び込みをするとか、もう一本ビールをお勧めしようとか、もう一品おつまみをご注文いただこう、あるいはもっと自分を成長させようといつた追求心、向上心です。

月刊誌『致知』をはじめ、たくさんの方々が様々な事を教え、又導いてくれる。ただ、読むだけでは数日後には忘れてしまうので、今後もこのパソコンに書き写すこと

だと思います。普段から準備しないと毎回思っています。毎回思っていないと咄嗟の時に対応できな

わが社の ほつとユース

皆様の善意をお届けしました

ゆづくややさしいパソコン教室では、生徒さんが栽培された野菜、深山せんべい、楓ジエラートなど収益金を毎年、益田市社会福祉協議会に寄付をする活動を続けています。今年も7月28日に益田市社会福祉協議会に収益金を届けてまいりました。

生徒さんが丹精込めて作られた季節の野菜は、いつも即日完売!教室の中で日頃の小さな善意が積み重なっていく重みを毎回感じさせていただいております。



致知の感想

特集記事 総務課

維新する



経営は絶べない維新である

印刷事業部 寺井政徳



経理部

大庭 幸絵



私は、それ別々に住んでいたので核家族の形ではありますか、意識の中では一戸のまま家族が増えている感じです。

致知を読んだ感じたことは、団体や組織、企業などは日々変化をし続けていかないといかなどと思つてたが、その中の人が常に変化をすることが大事だと改めて感じました。一日一年と常に維新をし、日々創造的に生きていかなければ、何もない人生になつてしまふと思つました。日々の経験や学びによつて成長し続ける必要があると思つます。その為には、文中に書いてあるように、理想を持つことが大事であり、理想に向かつて情熱を持って行動するから、多くの学び、何があつても、あきらめないとなく、自己を維新していくのだと思います。仕事においても、個人においても、高い目標を持つて日々変化していかなければ、成長はありえないと思います。常に創造的変化をして自己を新しくしていかないと悔いの残る人生になると思います。

文中的最後に「ガングジーの言葉があります。明日死ぬかのように生きなさい」という心に残った言葉でした。この言葉を心に刻み、日々を大切に、また少しでも成長できぬように、自己を高めていきたく思つました。

普段、朝から夜まで働くのが、自分の家族が胸をはつて下りれる仕事、会社にして下さるよういつも頑張つなければいけないと思つました。

誕生日の決意

印刷事業部

和崎 里菜子



せばあつところ間。これなどをやつた年齢を重ねても時間の感じ方も遅くなる事ができるのか、常に新たな事に挑戦したり、新しい刺激を取り入れるようすればいいのだと。「あれもあれ一回だけ」と思い出せばいいから、まずは脳へしかり取り組まないといふ、

「なんか一年あつといひ」
「なんか一年あつといひ」
間よね」「まだ早いなあよ」最近恒例の会話になつてきています。なぜ早く感じるんだろ? どうやら感受性豊かな子供の頃の経験は新鮮な驚きに満ちてらるから、新しい事もたくさん覚えるし時間も長く感じる。大人になるとつれ経験の内容が豊富で記憶する事が減り、新しい感動も少なく單調になつて時間を短く感じたりして。

社会員が仕事に本当に打ち込める環境づくりは最終的にはお客様に還元されてしまうよ、サイクルになるのはないかと思つました。

一年を振り返った際に、充実感や満足感をしつかりと実感できる、そんな生活を送つていれば、年齢に関係なく、時間は平等に流れれるのかもしだせん。あとは自分の気持ち、努力次第でこれが入るかい...と仕事の流れが身についているからだらうか。日常生活も単調な日々を送らないように、新しい事を日々向けてまた一年頑張りつ!

ゆっくりやさしいパソコン教室

お絵かきコンテスト入賞!

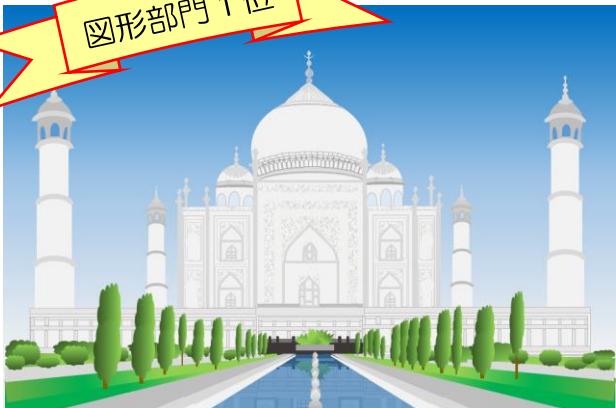
廿日市教室 今田 直美

全国のパソコン教室に通われた講生の皆さんのが参加された『ワードでお絵かきコンテスト』が開催されました。廿日市教室からも生徒さんが力作を出品され、なんと!見事4名の方が入賞されました。

☆☆ おめでとうございました ☆☆

テキスト・練習問題で翻ったことを基に、各回生徒さんが題材を選び、図形などを組み合わせての細かい作業と繊細な色合いなど駆使して、作成していきます。

この度はお絵かきコンテストに初めて参加された武岡誠子さんですが、図形部門の一位に入賞されました。



「タージマハール」 武岡誠子さん

廿日市教室では、生徒さんの出来上がった力を教室内に所せましと掲示させてもらっていますが、その作品たちのお蔭で小さな美術館のようになります。そして教室内も華やかにしてくれています。初めて来校され、それを目する方は、その作品たちを見て、「ワードは文章作成だけでなく、絵も描くことが出来るの?」とかなり驚かれます。そして興味を惹かれ、「ワードでお絵かき」を受講される方がほとんどです。これからも、生徒さんにもっともっと楽しんでいただけるパソコン教室を目指していきます。廿日市教室スタッフ

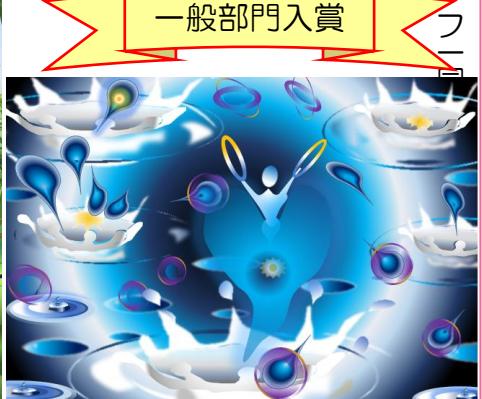
「ホントにびっくりしました」とつても嬉しかったです。○喜びを隠しきれない表情でお話されました。図形、線、グラデーションのちょっとした事で作品もまた違うもの、表情になってしまいますので、決して簡単ではないと思うのですが、それを皆さん楽しみながらやってらっしゃいます。僕でみている私もすごいなあと感心するばかりです。

出品された作品たちは、受講中はもううん、『自宅でもコシコシ』とされていましたので、たくさん時間を使費やして生まれた作品です、すごい作品ができるわけです☆

パソコン教室に行けば、日常の生活ではできない体験をすることができる、これから的人生の楽しみが増えること間違いありません。毎日たくさん仲間と会話をして、たくさん笑って人生を豊かにしませんか?

皆様のご入会を心よりお待ちしております。

一般部門入賞



「おいらん」
原田弘隆さん

「熱帯の鳥」
平野政子さん

「生命誕生」
山水久実子さん



ゆっくり やさしい パソコン教室



Typic

同じことを100回聞かれても笑顔でお答えします